

コメント

1. インフルエンザ

第10週から第15週まで続けて減少していましたが、第16週は定点当り7.30人とやや増加しています。この時期としては異例で、かなり報告数が多くしばらくは注意が必要です。安芸区25.3人、佐伯区12.5人と注意報レベル(定点当り10人)を超えています。

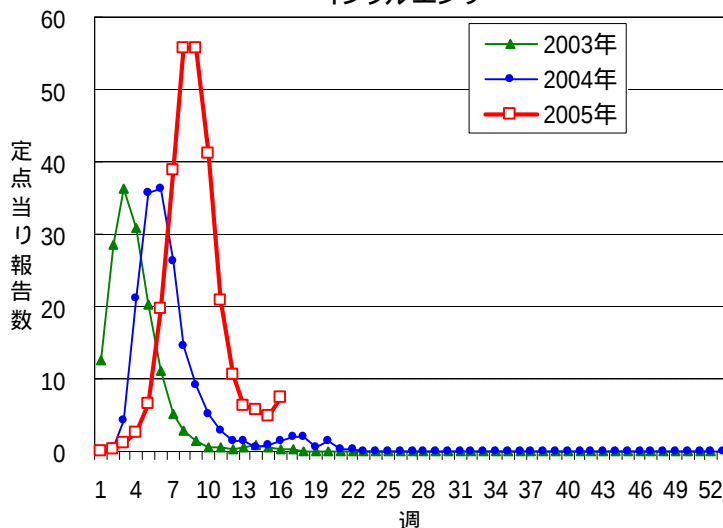
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当り1.46人と急増しています。安芸区では5.5人と特に多く、安佐北区2.3人となっています。

3. 手足口病

定点当り1.13人と増加しており、報告数は少ないものの、例年同時期と比べてかなり多くなっています。流行期に向かい今後の動向に注意が必要です。南区では4.0人となっています。

インフルエンザ



5類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均 (注1) 過去5年間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均 (注1) 過去5年間	発生記号
インフルエンザ(注2)	270	7.30	0.72	◇	麻疹(注3)	-	-	0.12	
咽頭結膜熱	3	0.13	0.16		流行性耳下腺炎	52	2.17	0.75	◇
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	1.46	1.31	↑	RSウイルス感染症	-	-	-	
感染性胃腸炎	160	6.67	7.95	→	急性出血性結膜炎	-	-	0.10	
水痘	28	1.17	1.60	◇	流行性角結膜炎	5	0.63	1.35	
手足口病	27	1.13	0.14	→	細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	8	0.33	0.33		無菌性髄膜炎	2	0.29	0.11	
突発性発疹	13	0.54	0.92		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.29	
百日咳	1	0.04	-		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風しん	1	0.04	0.02		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	1	0.04	0.08						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)
小児科定点数 24
眼科定点数 8
性感染症定点数 9
基幹定点数 7

(注1) 過去5年間の同時期平均(定点当り)
(注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く
(注3) 成人麻疹を除く
(注4) オウム病を除く

1類～5類感染症報告状況(全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
5	ウイルス性肝炎	1	2	男性(20歳代)・B型

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

		インフル (注1)	A群 溶血性 球菌 咽頭結 膜熱	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	風 し ん	ヘル パ ン ギ ー ナ	麻 し ん (注2)	流 行 性 耳 下 腺 炎	R S ウ イ ル ス 感 染 症	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	ク ラ ミ ジ ア 肺 炎 (注3)	成 人 麻 し ん
報告数	第12週	382	-	21	213	26	7	3	13	2	-	1	-	51	-	-	6	-	3	-	-
	第13週	232	3	21	201	28	17	6	12	3	-	-	-	63	-	-	11	-	-	-	-
	第14週	211	2	20	200	29	10	8	17	2	-	-	-	47	-	-	2	-	1	-	-
	第15週	183	5	15	170	22	17	5	21	2	1	1	-	59	2	-	2	-	-	-	-
	第16週	270	3	35	160	28	27	8	13	1	1	1	-	52	-	-	5	-	2	-	-
定点 当り	第12週	10.61	-	0.91	9.26	1.13	0.30	0.13	0.57	0.09	-	0.04	-	2.22	-	-	0.75	-	0.43	-	-
	第13週	6.27	0.13	0.88	8.38	1.17	0.71	0.25	0.50	0.13	-	-	-	2.63	-	-	1.38	-	-	0.14	-
	第14週	5.70	0.08	0.83	8.33	1.21	0.42	0.33	0.71	0.08	-	-	-	1.96	-	-	0.25	-	0.14	-	-
	第15週	4.95	0.21	0.63	7.08	0.92	0.71	0.21	0.88	0.08	0.04	0.04	-	2.46	0.08	-	0.25	-	0.29	-	-
	第16週	7.30	0.13	1.46	6.67	1.17	1.13	0.33	0.54	0.04	0.04	0.04	-	2.17	-	-	0.63	-	0.29	-	-
全国	第14週	5.24	0.15	0.96	5.30	1.62	0.14	0.25	0.64	0.01	0.01	0.09	-	1.00	-	0.02	0.61	-	0.03	0.18	0.02
	第15週	3.75	0.17	1.23	5.51	1.47	0.17	0.22	0.68	0.01	-	0.13	-	1.03	-	0.03	0.74	-	0.02	0.26	0.01

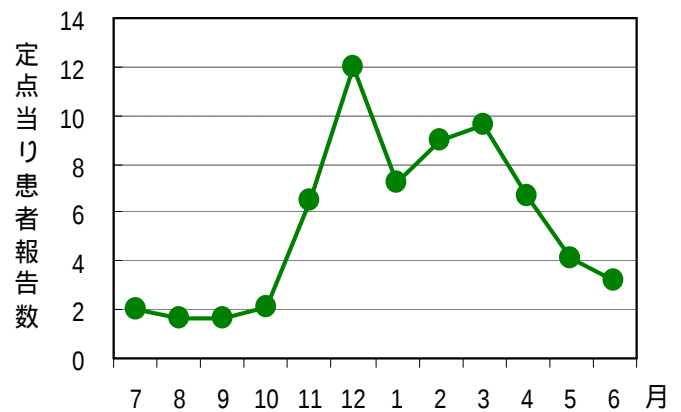
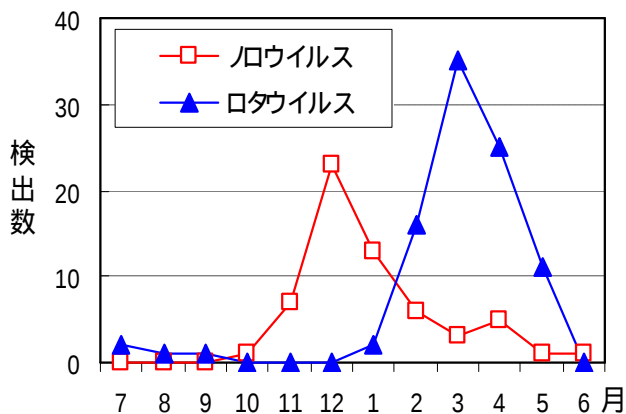
(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	1	男	2005/03/12	糞便	ロタウイルス (A群)
感染性胃腸炎	72	男	2005/03/16	糞便	ロタウイルス (A群)

【参考】感染性胃腸炎の患者から検出されたウイルスの検出数と患者報告数の推移

(広島市 1995年～2004年の集計)



(注) 定点当り報告数は、1週間当りの平均値である。

一般的に、冬季の感染性胃腸炎の原因はウイルス性のものが多く、ロタウイルスとノロウイルス(SRSV)が主な原因ウイルスとされています。広島市では1995年～2004年の間に、292人の感染性胃腸炎の患者からウイルスが検出され、このうちロタウイルスは93人、ノロウイルス(SRSV)は60人から検出されています。

ノロウイルスとロタウイルスの月別分離数の推移を比較すると、ノロウイルスのピークが12月であるのに対して、ロタウイルスのピークは3月にあります。このことは、右のグラフで感染性胃腸炎の患者報告数のピークが12月と3月の2回認められることに対応しているものと考えられます。

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2005年第16週 (4月18日～4月24日)